

正誤表

『エントロピーから読み解く生物学』（裳華房）

- 23 ページ， 6 行目：(誤) 有機物にある炭素 (正) 有機物に含まれる炭素
- 23 ページ， 下から 4 行目：(誤) 図 3-3 (正) 図 3-1
- 24 ページ， 5 行目：「小さな細胞（原核細胞の場合）や」を削除
- 29 ページ， 図 3-5：OAA からピルビン酸への矢印が， 白二重矢印になる（エネルギー産生反応）
- 40 ページ， 4-1 の最初のパラグラフ 6 行目：(誤) NAD^+ (正) NADH
- 49 ページ， 6 行目：(誤) 知れない (正) しれない
- 64 ページ， 4 行目：(誤) 数十秒 (正) 5 ないし 10 分
- 108 ページ， 下から 4 行目：(誤) 純光合成量 (正) 真の光合成量
- 122 ページ， 下から 10 行目：(誤) 『種の起源』 (正) 『種の起原』 多くの翻訳ではこの文字が用いられている。
- 123 ページ， 1 行目：繁殖率の後に括弧書きで（適応度）を追加。
- 192 ページ， 図 14-2：縦軸：(誤) Theil の経済格差（エントロピー）(正) Theil の経済格差（エントロピー差）
- 211 ページ， 文献[96]邦訳を追加。セルジュ・ラトゥーシュ，ディディエ・アルパジェス 著，佐藤直樹，佐藤薫 訳(2014)『脱成長（ダウンシフト）のとき 人間らしい時間を取りもどすために』未来社。

『40年後の『偶然と必然』』（東京大学出版会）

- 144 ページ， 最後から 3 行目：(誤) シーン (正) ショーン
- 271 ページ， 最後のパラグラフの 1 行目：(誤) 格好 (正) 恰好

『生命起源論の科学哲学』（みすず書房）

- 114 ページ， 2 行目：(誤) 名づける (正) 名づける，
同じく 3 行目：(誤) 絶対主義は不要であると (正) 絶対主義を
- 120 ページ， 終わりから 4-3 行目：(誤) 生物が何らかのシステムと同じと見なされうる場合，それは，(正) 生物というシステムは，
- 122 ページ， 5 行目：「小胞」は原語が *vésicules* なので，訳としては正しいが，おそらく，本来は，小胞体とすべきである。
- 133 ページ， 終わりから 3 行目：(誤) 精神 (正) 心
- 145 ページ， 10 行目：(誤) 野蛮な (正) てんでばらばらな
- 163 ページ， 図 2 のタイトル：(誤) 水による光吸収係数 (正) 水の光吸収係数
- 176 ページ， 6 行目： Q の文字が，逆向きの斜体になっている。

- 177 ページ, 7 行目: (誤) 「そういう $\forall j$ が存在する」 (正) 「そういう j が存在する」
- 177 ページ, 12 行目: (誤) P_j (正) P_j
- 178 ページ, 13 行目: (誤) 答をする (正) 答を与える
- 204 ページ, 本文 3 行目: Q の文字が, 逆向きの斜体になっている。
- 215 ページ, 終わりから 4 行目: (誤) 野蛮な (正) てんでばらばらな
- 237 ページ, 6 行目: (誤) 対照となる命題クラス (正) 対照命題クラス
- 244 ページ, 11 行目: 「時期や、生命の痕跡」の「、」をとる。
- 250 ページ, 9 行目: (誤) 対照となる命題クラス (正) 対照命題クラス
- 253 ページ, 4 行目: 「扱う、まだ比較的」の「、」をとる。
- 281 ページ, 終わりから 4 行目: (誤) 還元的にみたときに適切性を付与する関係 (正) 還元的な適切性関係
- 285 ページ, 2 行目: (誤) 鉱物表面には、化合物の異なる種類を吸着する性質がある。(正) 鉱物表面が物質を吸着する性質は、化合物によって異なる。
- 286 ページ, 5 行目: (誤) 還元論的 (正) 還元的
- 292 ページ, 本文 3 行目: (誤) 「機能的分子」 (正) 「機能分子」
- 350 ページ, 11 行目: 「第八章... の是非」は、最後の「の是非」を削除。
- 354 ページ, 終わりから 3 行目: 最初の文字 (誤) 際 (正) 指
- 356 ページ, 5 行目下から 6 行目: (誤) 適切性を付与する関係 (正) 適切性関係

『パスツールと微生物 伝染病の解明と治療につくした科学者』 (丸善出版)

- 15 ページ, 右の図の説明 1 行目: (誤) 布 (正) コルク
- 87 ページ, 第 3 パラグラフはじめの行: (誤) 6 月 6 日 (正) 7 月 6 日
5 行目: 「その子の名前は」の後に「は」が余分に入っている
- 125 ページ, 本文 1 行目: (誤) しまでしよう。(正) しまししよう。

『脱成長 (ダウンシフト) のとき 人間らしい時間を取りもどすために』 (未来社)

- p16, 3 行目: (誤) 経済学の専門家によれば, (正) 経済学の専門家は次のことを隠していたのではありませんか。
- p18, 1 行目: (誤) いきました (正) ゆきました
- p21, 本文 4 行目: (誤) のもつ想像力をじゆうなものにすることを (正) がマインドコントロールの状態から抜け出すことを
- p43, 後ろから 5 行目: (誤) こうして (正) つまり
- p54, 3 行目 仮想的でしかないネットワークの網のなかに, 私たちがひっかかっている (下線部が変更点)
- p54, 4-5 行目: (誤) この世界がデジタル化されてゆくと, その代わりに, (正) 一

方でこの世界がデジタル化されてゆくことにより、

p69, 6行目：(誤) ことになります (正) ことです

p70, 第1節の本文1行目：(誤) 町 (正) 街

p74, 1行目：(誤) 町 (正) 街

p77, 8行目：(誤) はまらない (正) はまらぬ

p81, ポイントの後の1行目：(誤) それだけの数の (正) それぞれに

p107, 3行目：(誤) 時間の値段 (正) 時間をお金ではかる

p112, ポイントの後の6行目：(誤) 地方経済 (正) 地域経済

p134, 終わりから4行目：(誤) とは違う (正) にはあてはまらない

p135, 終わりから2行目：(誤) 不均一性は (正) 不均一性が

p137, 2行目：(誤) 延長 (正) 延長上

『しくみと原理で解き明かす 植物生理学』(裳華房)

p66, 例1：アルドラーゼの反応式で、矢印の向きが逆になっている。可逆反応なので特に気にしなくても良いが、上が右向き、下が左向きの矢印となる。自由エネルギー変化は右向き反応に対する値であるため。

p75, 7-7-1：(説明追加) ここでは簡単のため、KASによる反応を特に区別していないが、植物の場合、最初の縮合反応はKASIIIが、その後の縮合反応はKASIが行う。KASIIIは基質としてアセチルACPではなく、アセチルCoAを利用する点がKASIと異なる。

p136, 1行目：(誤) ホルモン (正) 植物生長制御物質

p141, 表12-1および表12-2：(誤) カルビン回路 (正) カルビン・ベンソン回路

p152, 1-2行目：(誤) 文献23 (正) 文献B23

『進化する遺伝子概念』(みすず書房)

全体：(誤) ウィルス (正) ウイルス (正式な名称では「イ」は小さくしない)

p167, 6行目：(誤) アルテミシン (正) アルテミシニン (原文の誤りによる)